



高知リハビリテーション学院

〔所在地〕 〒 780 高知市旭天神町字陣ヶ森 292 番地

〔電 話〕 0888-44-1277

〔学 科〕 理学療法学科

〔学生数〕 80 名

〔募集人員〕 20 名

〔倍 率〕 13 倍

〔修業年限〕 4 年（昼間）

本学院は、名勝高知城の西方、緑濃き旭ヶ丘の上に位置し、母体である高知学園は 79 年の歴史と伝統を有し、幼稚園から大学までの一貫教育を理想としている。学園全体の教育方針は平和と友愛の精神を柱に、心根優しく、しかも困難に立ち向う強く正しい心の育成と、偏見におちいらずして、真相を見極める権威を学生に自得させることを目標としている。リハビリテーション学院は、その教育方針に基づき、倫理に徹し、医学の高度進歩に対応し、人間性豊かな専門技術者の養成を目指し、昭和 43 年 4 月 3 年制度養成機関として開学、昭和 50 年 4 月より 4 年制度に変更し、54 年 3 月末までに 210 名の卒業生を送り出し、その分布は全国 34 都道府県におよび、全国の PT の約 8.5% を占めている。3 年制度より 4 年制度に変更した直接の動機については、7 年間の経験上 3 年制度では WCPT の基準はおろか、国家試験受験資格のための時間数消化に精一杯で、人間味豊かな学生らしい生活の時間が少ないこと、カリキュラムは必修科目のみで一杯となり、リハビリテーションチームに欠かせない全人間的教養のための時間が不足すること、専門科目の講義に対する十分な実習時間を得られないこと。また、時間的余裕を得ることにより、理学療法の発展、治療技術の向上に不可欠な研究の課題と方向づけ、その方法などを修得するなど、将来、臨床の場、または

教育の場における研究チームの一員となりうることを目標にしうるし、臨床実習を 2・3・4 年次に分け、見学実習から患者へのアプローチ、インターンと段階的に行うことで実習の能率化をはかるなどである。以下、本学のカリキュラムの特徴を簡単に述べる。一般教育科目と、専門基礎科目は、4 年制大学の一般教養科目に相当するものであるが、選択の幅を広くし、「情愛と理智」「人類と社会」「環境と食糧」「心と物」など、総合科目を取り入れ、豊かな人間形成に重点をおいている。外国語は、英語、独語、英会話をそれぞれ演習科目として設けている。基礎医学、臨床医学では、厚生省基準と WCPT 基準を同時に満たしたうえに実際の臨床面での要請に答え、研究面での応用を目的として、脳外科学、内科学、臨床運動学、救急および消毒法などを独立科目とし、さらに医用電子工学、人間工学、リハビリ建築学を採用、心電図学、脳波、筋電図学なども独立科目として設けている。理学療法は基準の 1.5 倍にあたる時間を費やし、それぞれの科目が、平行（基礎科目と専門科目を平行して）または楔状（基礎科目と専門科目を関連づけて）に配置されている。なお、これらに関しては、卒業生や臨床実習指導者など一線で活躍中の先輩諸氏の意見を広く採用したものである。

学生生活は隣接する短期大学（食物栄養科、幼児教育科、衛生技術科、保健科）の学生との交流があり、学園祭や研究会などの行事のリーダーとして積極的に活躍している。学生の自治活動としては、学術向上を目的とした学友会があり、学術部、社会部、渉外部の各部が目的により活動している。また卒業生で組織する同門会よりなんらかの形でこの学友会や学院にアドバイスをいただいている。

（理学療法科長 中屋 久長）